



【かわむら じゃねって さん】 文京
●ブラジル、サンパウロ出身。ブラジル、フランスの2か国の国籍を持つ。アメリカのテキサス大学、イギリスのケンブリッジ大学、フランスのソルボンヌ大学で文学を学んだ。千歳通訳ボランティアクラブに所属し、一番得意な英語の通訳をおもに担当している。千歳ラテンクラブの副会長も務めている。

英語は「ブリッジ」！
世界への架け橋です。

○ I (オイ)！。母国ブラジルの言葉(ポルトガル語)で「こんにちは」と明るく話しかけてくれるジャネットさん。

ポルトガル語、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、イタリア語の7か国語を習得しています。日本語は？の質問に、「漢字が難しくて・・・まだ完璧ではありません」と笑います。

パイロットだった父の転勤や大学進学などで、これまでアルゼンチンやドイツ、アメリカ、フランスなど合計8か国で暮らしてきました。

「父はポルトガル人、母はフランス人です。国籍の違う両親がいること、小さいときから多くの国で生活し、地元の学校に通った経験があるから、

7か国語を話せるのだと思います」と自身の境遇を話します。

フランスで日本人のご主人と知り合い、結婚して日本に来ることになりました。23年前のことです。11年間暮らした母国ブラジルよりも長く、日本で生活しています。

「いろいろな国で生活してきましたが、いつも心がけていたことは、その国の言葉が分からなくても、自分からたくさん話しかけることです。千歳でも、多くの人に自分から話しかけていたので、今ではたくさんの方達がいますよ」と語ります。

15年前から、千歳高等学校で英語の先生として授業を受け持っているジャネットさん。

「英語を一番得意にして、英語を教

える仕事をしたという夢があったので、アメリカやイギリスの大学で英文学を学びました。今、英語を教える仕事ができ、とても幸せです」と笑みを浮かべます。

「授業では、私が生活してきた国の写真を見せたり、外国の衣食住などについて話します。生徒たちには、そのとき感じた、その国のイメージを英語で発表してもらいます。私の授業には、世界の中で日本が豊かな国であることに、改めて気付いてもらうという目的があります。そして、日本には、千歳という素晴らしいまちがあることを世界中の人に、英語で自慢してほしいですね」と最後までジャネットさんは、笑顔で語ってくれました。

人 の い る 風 景

S C E N E R Y O F P E O P L E

川村

GEANETE
KAWAMURA

ジャネット さん